西宮市政ニュース

Nishinomiya Muni. Bulletin

毎月10日・25日 2回発行

平成14年（2002年） 10月25日／第1169号

今号の主な記事

◇市職員募集「獣医師、栄養士、理学療法士」……2面
◇「西宮湯川記念賞」受賞者決まる……2面
◇市営住宅など入居者を募集……2面
◇保健だより……8面

発行／西宮市役所 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
TEL／0798-35-3151（代表）
ホームページ／http://www.nishi.or.jp/
編集／総合企画局市長室広報課 TEL／0798-35-3400

推計人口 45万1163人（女 23万6067人 男 21万5096人） 世帯数 18万6257 面積 100.18km²（平成14年10月1日現在）

甲子園浜に 自然環境センター

貴重な自然を保全する拠点施設として開設

甲子園浜自然環境センターが11月1日にオープン―阪神間に唯一残された自然の砂浜と干潟を有する甲子園浜には、カニやヤドカリ、貝類などが生息し、夏や冬にはシベリアや東南アジアを行き来する渡り鳥がやってきます。昭和53年に国設の鳥獣特別保護地区および保護地区として指定を受けました。地域の皆さんが長年にわたり守ってきたこの貴重な自然環境を保全する拠点施設として、同センターが開設されます。

海辺の自然環境を活用した活動・体験学習などに、ぜひご利用ください。問合せは同センター（枝川町19―10☎0798・49・6401）へ。

＜設置の目的＞

同センターは、甲子園浜の良好な自然環境の保全を目ざすほか、市民の自主的な環境活動を支援するために次の活動を行います。

◆海浜清掃や継続的な生物調査などの環境保全活動

◆学校や市民団体の自然観察会や環境学習活動への支援

◆海浜の環境問題に関心のある市民や市民団体の交流の場の提供

◆海浜の環境問題などに関する各種情報の提供

＜施設案内＞

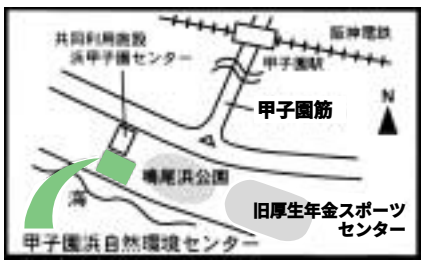
・1階…研修室
・2階…事務室、救護室
・3階…学習・交流室。海浜に関する図書や野鳥のパネルを設置。渡り鳥を観察できるコーナー（双眼鏡を配備）や、環境活動に関する情報提供コーナーなども

【開館時間など】
午前9時～午後5時。月曜・年末年始休館

【研修室の使用申込等】
3カ月前から申込受付。使用料無料

→甲子園浜には貴重な干潟が残されています

↑緑と海に囲まれた施設で環境学習を



周辺地図

西宮市民文化賞

豊かなまちづくりへの功績たたえ贈呈

市は、今年度の西宮市民文化賞の受賞者を決定しました。受賞者は、関西学院前理事長の武田建さん、手すき和紙「名塩雁皮紙（がんぴし）」の技術保持者の谷野武信さん、洋画家の松谷武判さん、にしのみや市民祭り協議会会長の吉井良隆さん、武庫川女子大学附属中学校・高等学校コーラス部の4個人1団体です。

贈呈式は11月3日午前10時から西宮神社会館で行われます。

武田 建さん

谷野武信さん

松谷武判さん

吉井良隆さん

武田 建さん

関西学院において私学振興に尽力し、「文教住宅都市西宮」のまちづくりに貢献。また同大学アメリカンフットボール部指導者として隆盛の基礎をつくり、スポーツを通じた本市のイメージアップにも寄与

谷野武信さん

昭和24年より製紙業に従事。本市の伝統産業「名塩紙」の技術向上に専心し、その技術の保存伝承にも尽力。今年、国指定重要無形文化財「名塩雁皮紙」の技術保持者として人間国宝に認定される

松谷武判さん

ボンドを使って制作したレリーフを鉛筆で黒く塗りつぶす独自の手法を確立し、日本を代表する国際的な洋画家として活躍。市内での個展の開催や団体展への参加など、本市の現代美術の普及・振興に貢献

吉井良隆さん

にしのみや市民祭り協議会会長として同祭りの運営にあたる。同祭りを通して市民文化の向上やコミュニティの活性化に多大な功績を残す。西宮観光協会会長などの要職も兼ね、市民文化の発展に貢献

武庫川女子大学附属中学校・高等学校コーラス部

昭和15年の創部以来、NHK全国学校音楽コンクール、全日本合唱コンクールで優秀な成績を収める。トップレベルの演奏を通じて芸術文化の振興に努め、スポーケン市での公演など国際交流にも貢献

武庫川女子大学附属中学校・高等学校コーラス部

環境学習ルーム

～開館日が変更になりました～

環境学習ルーム（市役所江上庁舎1階）の開館日が変更になりました。問合せは同ルーム（0798・35・3804）へ。

★開館日等 月曜～土曜の午前10時～午後6時

★閉館日 日曜、祝日